

新型コロナウイルス感染症にかかる市内事業者アンケート調査 (第 2 回) の結果概要について

1. 調査目的

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市内経済への影響を継続的に把握するもの。

2. 調査対象者

栗東市小規模事業者事業継続応援給付金の給付決定事業者 (509 者)

3. 調査期間

令和 3 年 1 月 8 日～令和 3 年 1 月 22 日 (郵送回答のみ)

※第 1 回実施期間：令和 2 年 10 月 26 日～令和 2 年 11 月 18 日

4. 回答数

188 件 / 508 件 (37.0%) ※第 1 回回収率 291 件 / 509 件 (57.2%)

問 1 令和 2 年 10 月～12 月の売上高の前年同月比について該当するものに○を付けてください	
●多くの事業者の売上高が減少している	
ア. 10%未満減少 : 6 件 (3.2%)	イ. 10%以上～20%未満減少 : 30 件 (16.0%)
ウ. 20%以上～30%未満減少 : 29 件 (15.4%)	エ. 30%以上～40%未満減少 : 27 件 (14.4%)
オ. 40%以上～50%未満減少 : 28 件 (14.9%)	カ. 50%以上減少 : 31 件 (16.5%)
キ. 横ばい : 25 件 (13.3%)	ク. 増加 : 10 件 (5.3%)
無回答 : 2 件 (1.1%)	
問 2 売上高が減少している要因について該当するものに○を付けてください (複数回答可) ※問 1 にてア～カに回答した方のみ回答	
●来客数の減少、受注量の減少が主な要因	
ア. 来客数の減少 : 85 件 (45.2%)	イ. 取引先数の減少 : 30 件 (16.0%)
ウ. 受注量の減少 : 78 件 (41.5%)	エ. 受注単価の減少 : 18 件 (9.6%)
オ. 販売商品・原材料等の仕入れが困難 : 7 件 (3.7%)	カ. その他 (催し中止等) : 15 件 (8.0%)
問 3 売上高が増加している理由についてご記入ください ※問 1 にてクに回答した方のみ回答	
●一部抜粋	
<ul style="list-style-type: none"> ・企業努力、工事の時期が重なったため ・GoToEat、りっとう元気アップ応援券の影響で売上が上がっているため ・ネット販売等の需要拡大、在宅需要の高まりによる 	
問 4 令和 2 年 10 月～12 月の売上高平均を令和 2 年 4 月～9 月の売上高平均と比較して該当するものに○を付けてください	
●約半数の事業者の売上高が減少している	
ア. 10%未満減少 : 13 件 (6.9%)	イ. 10%以上～20%未満減少 : 22 件 (11.7%)
ウ. 20%以上～30%未満減少 : 14 件 (7.4%)	エ. 30%以上～40%未満減少 : 15 件 (8.0%)
オ. 40%以上～50%未満減少 : 13 件 (6.9%)	カ. 50%以上減少 : 21 件 (11.2%)
キ. 横ばい : 43 件 (22.9%)	ク. 増加 : 35 件 (18.6%)
無回答 : 12 件 (6.4%)	
問 5 売上高が減少している要因について該当するものに○を付けてください (複数回答可) ※問 4 にてア～カに回答した方のみ回答	
●来客数の減少、受注量の減少が主な要因	
ア. 来客数の減少 : 61 件 (32.4%)	イ. 取引先数の減少 : 19 件 (10.1%)
ウ. 受注量の減少 : 61 件 (32.4%)	エ. 受注単価の減少 : 12 件 (6.4%)
オ. 販売商品、原材料等の仕入れが困難 : 6 件 (3.2%)	カ. その他 (営業活動減少、予約キャンセル等) : 7 件 (3.7%)
無回答 : 36 件 (19.1%)	
問 6 売上高が増加している理由についてご記入ください ※問 4 にてクに回答した方のみ回答	
●一部抜粋	
<ul style="list-style-type: none"> ・りっとう元気アップ応援券とチェキボン掲載で来店が増えたため ・4～5 月は休業したため収入減であったが、夏以降はある程度持ち直したため ・緊急事態宣言が解除され、通常通り事業を実施しているため 	

問7 令和3年1月以降の経営状況は令和2年10月～12月までと比べてどのように見通していますか。該当するものに○を付けてください	
●経営状況が改善する事業者はほとんどいない	
ア. 改善する : 8件(4.3%)	イ. 横ばい : 35件(18.6%)
ウ. 悪化する : 76件(40.4%)	エ. 見通せない : 66件(35.1%)
無回答 : 3件(1.6%)	
問8 新型コロナウイルス感染症を受けて、懸念される経営課題について該当するものに○を付けてください (複数回答可)	
●売上高の減少を補う施策が必要	
ア. 資金繰りの悪化 : 89件(47.3%)	イ. 原材料等の仕入れ単価の値上げ、入荷遅れ : 31件(16.5%)
ウ. 受注、取引件数の減少 : 90件(47.9%)	エ. 売上高の減少 : 129件(68.6%)
オ. イベント等の中止・延期 : 50件(26.6%)	カ. ニーズの変化への対応 : 31件(16.5%)
キ. 従業員の出勤困難 : 16件(8.5%)	ク. 特になし : 5件(2.7%)
ケ. その他(営業活動ができない、出張ができない等) : 5件(2.7%)	
問9 新型コロナウイルス感染症を受けて、取り組んでいきたいことについて該当するものに○を付けてください (複数回答可)	
●販路拡大助成施策、情報提供が必要	
ア. テレワーク環境整備 : 26件(13.8%)	イ. ビジネスモデルの転換 : 37件(19.7%)
ウ. BCP等の作成・整備 : 3件(1.6%)	エ. 従業員の確保・雇用継続対策 : 26件(13.8%)
オ. 新分野への進出、販路拡大 : 55件(29.3%)	カ. 技術力の強化、人間育成の強化 : 39件(20.7%)
キ. 情報収集機能の強化 : 49件(26.1%)	ク. 企業間のネットワーク形成 : 19件(10.1%)
ケ. 新型コロナウイルス感染症対策の設備導入 : 58件(30.9%)	コ. 特になし : 28件(14.9%)
サ. その他(テイクアウト実施、消毒、換気等) : 11件(5.9%)	
問10 貴社(事業所)の従業員の状況(予定も含む)について該当するものに○を付けてください (複数回答可)	
●何も実施していない事業者が多い	
ア. 業務縮小による出勤人数の調整 : 38件(20.2%)	イ. テレワーク等の出勤人数制限 : 10件(5.3%)
ウ. 人員整理を実施した、又は実施予定 : 14件(7.4%)	エ. 特になし : 111件(59.0%)
オ. その他(従業員がいない、人数調整ができない等) : 15件(8.0%)	無回答 : 1件(0.5%)
問11 出張や展示会出展費等、貴社(事業所)の県外との従来状況について該当するものに○を付けてください	
●県外への移動を自粛している事業者が多い	
ア. 通常通り : 14件(7.4%)	イ. 地域により自粛 : 30件(16.0%)
ウ. 不要不急の外出は自粛している : 69件(36.7%)	エ. 特になし : 70件(37.2%)
無回答 : 5件(2.7%)	
問12 今後、市に対して望まれる支援施策等について該当するものに○を付けてください (複数回答可)	
●給付金、助成金・補助金が求められている	
今回結果	前回結果
ア. 融資 : 31件(16.5%)	ア. 融資 : 35件(12.0%)
イ. 助成金・補助金 : 122件(64.9%)	イ. 助成金・補助金 : 173件(59.5%)
ウ. 給付金 : 141件(75.0%)	ウ. 給付金 : 206件(70.8%)
エ. 情報提供 : 51件(27.1%)	エ. 情報提供 : 91件(31.3%)
オ. 相談窓口 : 12件(6.4%)	オ. 相談窓口 : 24件(8.2%)
カ. プレミアム付商品券 : 47件(25.0%)	カ. プレミアム付商品券 : 59件(20.3%)
キ. その他(施設提供、消毒液・マスク提供等) : 2件(1.1%)	キ. その他(減税、水道料金無料化等) : 5件(1.7%)
問13 経営課題解決のための専門家からのアドバイスについて該当するものに○を付けてください	
●アドバイスを受けたことがない事業者が多い	
ア. アドバイスを受けたことがある : 31件(16.5%)	イ. アドバイスを受けたことがない : 75件(39.9%)
ウ. アドバイスを受けたがどこに相談すれば良いかわからない : 11件(5.9%)	エ. アドバイスを受けることが特になし : 53件(28.2%)
無回答 : 18件(9.6%)	
「業種」×「問1:令和2年10月～12月の売上高の前年同月比について」のクロス集計	
<ul style="list-style-type: none"> ・建設業では「横ばい」が12件(34.2%)、「増加」が2件(5.7%)となっており、他業種と比較すると僅かではあるが10月～12月の影響が少なかったことがわかる ・宿泊業・飲食店では「40%以上～50%未満減少」、「50%以上減少」が各々11件(29.7%)と最も多く、影響が大きかったことがわかる 	

「業種」×「問4：令和2年10月～12月の売上高平均と令和2年4月～9月の売上高平均の比較について」のクロス集計
<ul style="list-style-type: none"> ・建設業では「横ばい」が13件(39.4%)、「増加」が8件(24.2%)となっており、令和2年4月～9月と比較すると影響が大きくなった事業者は少なかったことがわかる ・教育・学習支援業では「増加」が7件(53.8%)と最も多い
「業種」×「問7：令和3年1月以降の経営状況について」のクロス集計
<ul style="list-style-type: none"> ・卸売業・小売業では「悪化する」が15件(55.6%)、宿泊業・飲食店では「悪化する」が24件(63.2%)と最も多く1月以降の影響が大きくなることがわかる
「問1：令和2年10月～12月の売上高の前年同月比について」×「問7：令和3年1月以降の経営状況について」のクロス集計
<ul style="list-style-type: none"> ・問1において「横ばい」と回答している事業者の中で令和3年1月以降の経営状況が「悪化する」、「見通せない」と回答している事業者は17件(68.0%)となっており、影響が大きくなることが見通せる ・問1において「増加」回答している事業者の中で令和3年1月以降の経営状況が「悪化する」、「見通せない」と回答している事業者は8件(88.9%)となっており、影響が大きくなることが見通せる
「前回アンケート問9：令和2年7月～9月の売上高の前年同月比について」× 「今回アンケート問1：令和2年10月～12月の売上高の前年同月比について」のクロス集計
<ul style="list-style-type: none"> ・前回アンケート問9において「10%未満減少」と回答している事業者の中で今回アンケート問1において「10%以上減少」、「横ばい」と回答している事業者は11件(92.3%)となっており、令和2年7月～9月に影響が少なかった事業者においても令和2年10月～12月の影響が大きかったことがわかる ・前回アンケート問9において「10%以上～20%未満減少」と回答している事業者の中で今回アンケート問1において「20%以上減少」、「横ばい」と回答している事業者は11件(68.8%)となっており、令和2年7月～9月に影響が少なかった事業者においても令和2年10月～12月の影響が大きかったことがわかる
「前回アンケート問10：令和2年10月以降の経営状況の見通しについて」× 「今回アンケート問4：令和2年10月～12月の売上高平均と令和2年4月～9月の売上高平均の比較について」のクロス集計
<ul style="list-style-type: none"> ・前回アンケート問10において「改善する」と回答している事業者の中で今回アンケート問4において「増加」が9件(39.1%)となっているが、半数以上の事業者が「横ばい」、「減少」となった。 ・前回アンケート問10において「見通せない」と回答している事業者の中で今回アンケート問4において減少に回答している事業者は26件(61.9%)となっており、経営状況が見通せなかった事業者の多くの売上高が減少傾向にあったことがわかる

【全体の方向性について】

- 令和2年7月～9月よりも令和2年10月～12月の方が新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者が多いことがわかる。また、2回目の近隣府県の緊急事態宣言の発令も影響していることから令和3年1月以降の経営状況が「悪化する」と見通している事業者が多い。
- 今後も、新型コロナウイルス感染症による影響を受けると回答している事業者が多数を占めていることから継続的な支援が必要である。市に対して求められる支援策について、前回のアンケート結果と同様に給付金、助成金・補助金事業が上位となっている。国・県の支援策等への市独自上乗せの実施、市内経済活性化のために市独自消費喚起策の検討と実施が必要である。
- 給付金、助成金・補助金事業以外にも情報提供、相談窓口が望まれているが、専門家からのアドバイスを受けたことがない事業者が多いことから、相談会の更なる周知が必要であると考えられる。また、国・県・市の支援策を効果的に関係機関と連携して周知をしていく必要がある。